

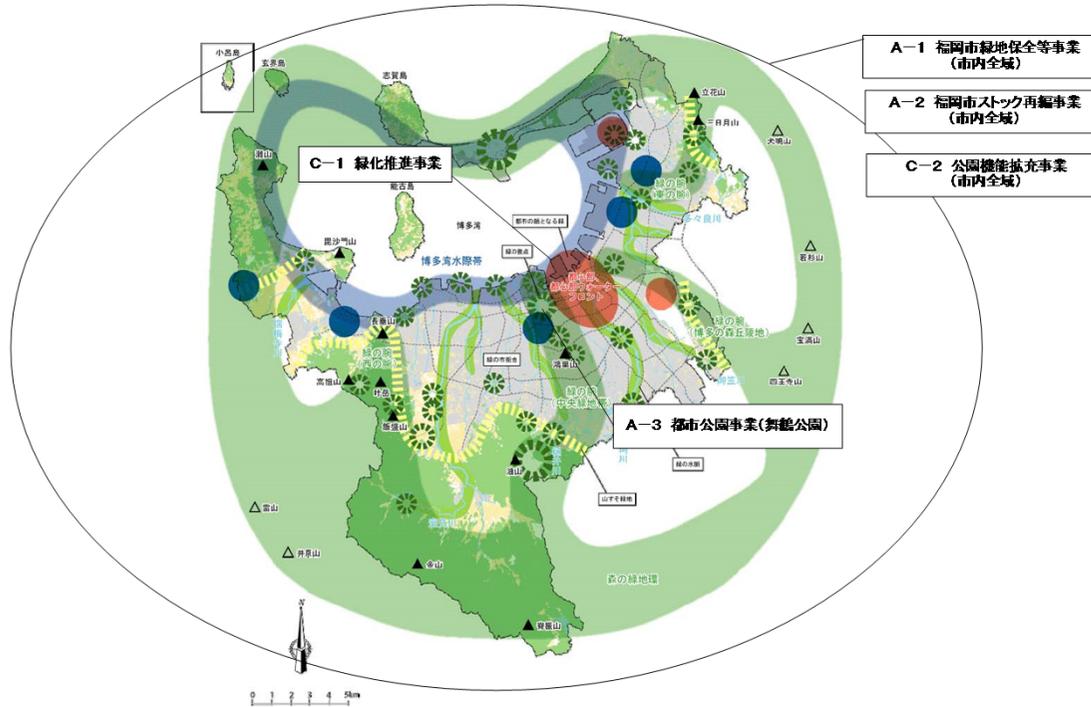
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡		
計画期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	6,900百万円	国費率	1/2 1/3

1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名					
		A.基幹事業	○福岡市緑地保全等事業 ○福岡市ストック再編事業 ○都市公園事業(舞鶴公園) ○都市公園(東平尾公園)				
進捗状況	B.関連社会資本整備事業	-					
	C.効果促進事業	○緑化推進事業 ○公園機能拡充事業 ○公園内土砂災害対策事業					
	その他関連する事業	-					
	A.基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(平成30年度末時点)	次期計画		
		○福岡市緑地保全等事業	特別緑地保全地区7地区用地取得, 6地区施設整備	一部完了	継続予定		
		○福岡市ストック再編事業	1公園用地取得, 18公園施設整備	一部完了	継続予定		
		○都市公園事業(舞鶴公園)	用地取得, 木橋整備	一部完了	継続予定		
		○都市公園事業(東平尾公園)	レベルファイブスタジアムボイラー施設, 陸上競技場夜間照明施設等	一部完了	継続予定		
B.関連社会資本整備事業							
C.効果促進事業	○緑化推進事業	2路線施設整備	完了	-			
	○公園機能拡充事業	39公園施設整備	一部完了	-			
	○公園内土砂災害対策事業	1公園施設整備	一部完了	-			
その他関連する事業							
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H27年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因	
		福岡市域における緑の面積	18,980ha	18,980ha	18,931ha	公園や民有地などの緑が増加しているものの、農地などのみどりは減少しているため、全市における緑の総量は減少しており、目標値に達していない。	
		身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	30% (H30年度末実績)	市民の身近な公園が充足していない地域や市街地における緑化が十分でない地域もあり、目標値に達していない。	
		地域の公園に親しみを感している市民の割合	64%	73%	67% (H30年度末実績)	公園の再整備に加え、公園愛護会活動やコミュニティパーク事業等のソフト施策を促進した結果、H27年度当初より数値は上昇したが、目標値を達成できなかった。	
		過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	56%	58%	62% (H30年度末実績)	セントラルパーク構想の推進や、舞鶴公園でのイベント開催件数の増加により、舞鶴公園への来訪者が増え、目標値を達成した。	
		鴻臚館等観光施設の年間利用者数	12.5万人	17.0万人	20.5万人	セントラルパーク構想の推進や、舞鶴公園でのイベント開催件数の増加により、舞鶴公園への来訪者が増え、目標値を達成した。	
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・都市公園事業について、比較的大規模な公園を整備することにより、市民の休息、鑑賞、散歩、運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。 ・都市緑地保全等事業について、都市の中に残る緑地を保全することにより、良好な景観と都市環境の創出。					
効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)							
3)その他	今後の方針	・都市公園事業については、舞鶴公園、東平尾公園など必要な公園整備を進めていく。 ・緑地保全事業については、引き続き、永続的に良好な緑地を確保していく。					

「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
本市の「緑」に関する総合計画である「福岡市新・緑の基本計画」(平成21年5月策定)に基づき、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積の総量を維持するとともに、既存ストックの再編を図ることで、市民が身近な緑や公園に親しみをもてるような、風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡の創造に向けて事業を推進していく。また、舞鶴公園においては、日本で唯一の二重の国指定史跡である、国史跡福岡城跡、国史跡鴻臚館跡という、我が国固有の優れた歴史的資源を活用して、市民の憩いの場として、歴史、芸術文化、観光振興の拠点となる公園づくりに向けて、セントラルパーク構想を推進していく。	①福岡市域における緑の面積	18,980ha	18,980ha	18,931ha
	②身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	30% (H30年度未実績)
	③地域の公園に親しみを感じている市民の割合	64%	73%	67% (H30年度未実績)
	④過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	56%	58%	62% (H30年度未実績)
	⑤鴻臚館等観光施設の年間利用者数	12.5万人	17.0万人	20.5万人



主な事業効果

- 都市公園事業については、比較的大規模な公園を整備することによる新たな緑の創出、および、運動やレクリエーションを行うことができる公共空間の創出
- 緑地保全事業については、特別緑地保全地区に指定された地区の用地取得を行うことによる、永続的に良好な緑地の確保
- 福岡市ストック再生事業については、市民ニーズに合わせた身近な公園の整備